

アクティブ英語研修 留学先の気候について



英国

冬のイギリス(12～2月)は最も寒い季節となります。イギリスは「天気は備えろ」と言われる程、曇りや小雨の天気が多い印象です。実際、イギリスの天気は変わりやすく、「折り畳み傘が必需品」とか「天気予報はまめにチェック」ということもよく聞きます。冬のイギリス(12～2月)は、日照時間が短く、特に外では肌寒さを感じやすい季節ですので、ダウンコートや帽子、手袋、マフラーなどの防寒具があると安心です。その反面、屋内はセントラルヒーティングが効いているので、ジャケットの下は、薄手の重ね着できる服装で調整すると良いでしょう。



カナダ

カナダには日本同様に四季があります。11月～3月の冬～春先の気候は、地域や都市によって大きく異なります。西海岸のバンクーバーの冬～春先は、雨が多いが平均気温が0～10℃前後と比較的温暖で降雪量も少なく、他の都市に比べると過ごしやすいと言われております。東海岸のトロントの冬の気候は、平均気温が0～-10℃前後と氷点下を下回る日が多く、人気の観光地ナイアガラが凍るほど寒い地域です。そんなトロントでは地下街や地下鉄など商業施設が充実しており、外は寒くても地下の暖房の効いたところで過ごせる街になっています。但し、バンクーバーの気候と比べても、トロントはしっかりとした防寒具が必要でしょう。



アメリカ

アメリカ西海岸は、年間を通して温暖で留学先や観光地として人気があります。ロサンゼルスは雨が少ない地域と言われてますが、2～3月は雨季になりますので、折り畳み傘があると良いでしょう。ロサンゼルの平均気温は10～15℃と日本の冬と比べても、かなり過ごしやすいと言えますが、日中20℃まで上がる日もありますが朝晩の冷え込み・寒暖差には注意が必要です。重ね着のできる衣類や薄手のダウンジャケットや軽めのジャケット類があると安心です。



オーストラリア

オーストラリアは南半球に位置するため、日本とは季節が真逆となり、12月～2月は夏となります。ブリスベン、シドニーは平均気温が20～28℃前後、メルボルンは平均気温15～25℃前後で、日本のような酷暑・多湿の気候とは異なります。日差しが強いので、サングラスや日焼け止めクリームなどの日焼け対策は必須です。但し、オーストラリアの朝晩は10℃前後と日中との寒暖差があります。温暖な地域の為、暖房器具などが揃っていない家庭も多く、衣類による防寒対策や体調管理に留意する必要があります。



フィリピン

フィリピンは1年中気温が高く、平均25℃前後で昼夜の寒暖差もあまりありません。12～5月は乾季のため暑く感じる日も多いでしょう。最低気温が20℃を下回ることもない都市部のマニラなどでは、建物内はエアコンが効いているので、何か羽織れる衣類があると安心でしょう。昼間の外は日差しが強いので、サングラスや帽子、日焼け止めクリームなど、日焼け防止対策や汗拭き用のハンドタオルなど必要でしょう。



ドバイ

夏は40℃以上の酷暑で知られるドバイですが、12～2月は冬季となり平均気温が20～30℃前後と過ごしやすい気候となります。その為、ドバイの冬季(12～2月)は、留学生や観光客に人気があり、大変混み合います。日中は半袖で過ごせますが、朝晩は寒暖差がある為、パーカーや長袖シャツ、軽めのジャケットなど重ね着で対処すると良いでしょう。なお、イスラム教のドバイでは、女性はドレス、スカート、パンツを問わず、極力露出を抑える長めの服装が必須となります。またモスクなどの施設では、肩や背中を覆うスカーフやショール、頭にかぶるシェイラ(スカーフのようなもの)が必要です。



マルタ

日本と緯度が変わらないマルタでは四季があります。11～3月は雨季で日が短く、1日中降ったりやんだりを繰り返す雨の日が多い季節と言われます。平均気温は10～16℃前後で、日本ほど冷え込まず、雨の湿度でしっとりと日中は観光に向いている季節とも言えます。日中の服装は日本のような真冬の服装よりも若干薄着の重ね着で良いかもしれませんが、但し、マルタの建物は夏を快適に過ごす為、屋内も涼しくなる設計になっており、寒い日の防寒が出来ていません。朝晩の冷え込み対策や屋内用の防寒対策でインナーや厚手の靴下、カイロなどはあると良いでしょう。